

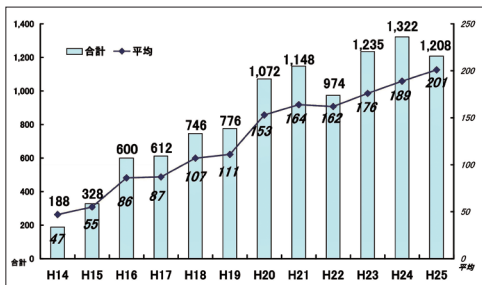


青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町 2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成25年11月29日



合同清掃



合同清掃参加者数推移グラフ

今年度最後の問屋町合同清掃が10月10日(木)、秋晴れの空の下、183名の参加者を集めて行われた。今年度は第4回目の開催予定日が3度も雨に見舞われ中止となったが、全6回の総参加者数は1,208名、1回あたりの平均参加人数は過去最多となる201名(昨年度189名)と、ついに大台の200名を超えた。参加企業



ハイタッチして喜び合う参加者

1回の平均参加人数が200名を超え 今年度の問屋町合同清掃が終了

今年度最後の問屋町合同清掃が10月10日(木)、秋晴れの空の下、183名の参加者を集めて行われた。今年度は第4回目の開催予定日が3度も雨に見舞われ中止となったが、全6回の総参加者数は1,208名、1回あたりの平均参加人数は過去最多となる201名(昨年度189名)と、ついに大台の200名を超えた。参加企業

今年度は第4回目の開催予定日が3度も雨に見舞われ中止となったが、全6回の総参加者数は1,208名、1回あたりの平均参加人数は過去最多となる201名(昨年度189名)と、ついに大台の200名を超えた。参加企業

合同清掃は、組合員並びに関連企業の協力のもと、問屋町内の景観美化に大きな効果

をあげており、参加者からは「ここ数年は、ごみが非常に少なく探すのが大変」と嬉しい意見も寄せられている。組合では今後も、問屋町の景観美化向上を目指し、合同清掃活動を積極的に推進していく。

熱戦が繰り広げられた問屋町ボウリング大会

- ▽問屋町合同清掃 10年賞受賞企業
- ▽(株)小田川
- ▽(株)MPアグロ
- ▽(株)電技パーツ
- ▽(株)ヒグチ
- ▽(株)新開トランスポートシステムズ

問屋町ボウリング大会が、10月25日(金)にイーストボウルで開催された。今回で37回目を迎えた問屋町ボウリング大会は、組合で実施している福利厚生事業でも歴史が古く、今回も27チーム79名と多くの参加者を集めて行われた。大会は1チーム3人の団体戦と個人戦で争われ、3ゲームのトータルスコアで順位が決定。優勝賞品のゲーム機などが繰り広げられた。チームメイトやライバルの投球に一喜一憂し、会場は歓声と熱気に満ち溢れていた。熱戦の結果、みちのく銀行問屋町支店Aチームが見事団体優勝を飾った。同大会では毎回、スコアを競い合うだけでなく、誰でも達成可能な各種特別賞を準備しており、今回は新たに「ベストナリススト賞」を設けた。同賞は、事前に自分の3ゲームのトータルスコアを

平成25年度の景観整備事業の実施と承認

第6回理事會

組合管理施設の改修工事や景観整備事業の実施等を審議する第6回理事會が10月22日に問屋町會館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは、青森県流通団地連絡協議会第27回通常総会の開催や北日本流通ヴァン(株)のVANセンター統合、ごみ分別強化キャンペーンの調査結果について報告を行った。

組合管理施設の新規加入に係る改修工事の実施が承認された。
案件二 環境対策委員会からの意見について
問屋町枝線歩道グラウンドカーパー実験事業を含む平成25年度景観整備事業の実施が承認された。
案件三 組合施設の賃貸並びに新規組合員加入承認について
案件四 脱退組合員跡地買取資金及び倒産組合員の建物解体費に係る借入について
案件五 つなぎ資金の借入について
案件六 平成25年度第7回理事會の日程等について

卸団地制度創設50周年記念式典

において当組合が表彰される

全国卸商業団地協同組合連合会主催の卸団地制度創設50周年記念式典が、10月31日(木)、東京のホテルニューオータニで開催された。

卸団地制度は、市街地に散在する中小卸売業が直面する店舗・倉庫の狭隘化、駐車場不足等の諸問題を解消し、個別企業では成し得ない種々事業の共同化の推進により、中小卸売業の経営基盤強化を図り、流通の合理化・近代化に資することを目的に昭和38年に創設され、このたび50周年を迎えた。

創設50周年を記念して開催された同式典において、当組合の日頃の活動が認められ、全国卸商業団地協同組合連合会会長表彰を受賞した。

親睦交流会へ合同ゴルフコンペ

青友会

問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第1回親睦交流会が10月29日(火)、ホテル青森で開催された。

交流会では、当組合の藤本専務理事が市民古代史の会事務局長として「大星神社と北斗七星信仰について」をテーマに講演を行なった。
講演会では、大星神社を始点とする津軽にある7つの神社の紹介や大星神社の由緒、御祭神のいわれについて説明。同神社に伝わるお面伝説やネブタの起源といわれる田村麻呂の伝説なども紹介され、参

加者は興味深く耳を傾けていた。
また、10月12日(土)には、青友会と青森問屋町経営同友会の合同ゴルフコンペが青森カントリー倶楽部で開催され、両会会員とオブザーバーを含む18名が参加した。



青友会 親睦交流会

プレー終了後は表彰式と懇親会が行われ、お互いのプレーを振り返りながら交流を深めた。
今回優勝したのは、(株)青森銀行問屋町支店の松橋支店長。ベストロ賞は(株)RAB企業の鷲尾部長が獲得した。



合同ゴルフコンペ

カーリング教室で「青二藍」

青森問屋町経営同友会では10月17日(木)、今回で6回目となるカーリング教室を青森市スポーツ会館で開催した。

参加者は慣れない氷の上で四苦八苦しながらも、ゲーム形式の練習ではチームメイトや自分の投げたストーンに「喜一憂し、楽しい時間を過ごしていた。」



同友会 カーリング教室

業務報告

…主要事項…

- 10月
 - 1日▽県労働基準協会青森県産業安全衛生大会
 - 4日▽東北・関東甲信越卸商業団地連絡協議会交流会
 - 6日▽第3回緑のボランティアア隊
 - 7日▽安協問屋町支部第2回役員會
 - 8日▽県中央会2013中小企業団体青森県大会
 - 10日▽第3回集団健康診断
 - 10日▽第7回合同清掃
 - 12日▽青森中央高校職場見学会
 - 12日▽青友会同友会合同ゴルフコンペ
 - 15日▽金融審査會
- 16日▽県中央会情報連絡員會議
- 17日▽第3回環境対策委員會議
- 17日▽同友会カーリング教室
- 18日▽県流通団地連絡協議會
- 18日▽卸組合職員研修會
- 20日▽簡易郵便局業務研修會
- 22日▽第6回理事會
- 22日▽安協問屋町支部第4回街頭指導
- 23日▽中央会全国大会
- 23日▽青森県の農業の6次産業化を考える委員會議演會
- 24日▽高崎卸商社街協來訪
- 24日▽第37回問屋町ボウリング大會
- 25日▽東北卸商業団地連絡協議會事務局女子職員研修會
- 27日▽青森公立大学開学20周年記念式典・祝賀會
- 28日▽青森市産業振興財団評議員會
- 28日▽市高度化事業団体連絡
- 29日▽青森市産業振興財団理事會
- 29日▽協議會先進地視察調査
- 30日▽青友会第1回親睦交流会
- 31日▽商団連卸団地制度創設50周年記念式典
- 8日▽これから学ぶ会計・経理導入編(1日目)
- 10日▽これから学ぶ会計・経理導入編(2日目)
- 17日▽チェックリスト「大」活用講座
- 22日▽これから学ぶ会計・経理任職編(1日目)
- 24日▽これから学ぶ会計・経理任職編(2日目)
- 30日▽顧客の心をギュッとつかむ営業研修

問屋町ビジネススクール

- 8日▽これから学ぶ会計・経理導入編(1日目)
- 10日▽これから学ぶ会計・経理導入編(2日目)
- 17日▽チェックリスト「大」活用講座
- 22日▽これから学ぶ会計・経理任職編(1日目)
- 24日▽これから学ぶ会計・経理任職編(2日目)
- 30日▽顧客の心をギュッとつかむ営業研修

■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売

ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00
定休日 土・日・曜、祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6 TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881

0120-404-303

ミリオン健康ランド <http://www.t-mirion.co.jp/>

お気軽にご相談ください。

職場のユニホーム

ご一報下さい。カタログ持参致します。

繊維製品総合卸

株式会社 神山

青森市問屋町 TEL 738-4581
FAX 738-4089

高崎卸商社街協が来訪

群馬県高崎市に位置し、日本で第1号の卸商業団地として昭和38年に設立された高崎卸商社街協同組合が、10月24日(木)、当組合の事業活動や団地運営を視察するため来所した。

初めに高崎卸商社街協の松本理事長、当組合の西副理事長がそれぞれ挨拶を行い、藤本専務理事が組合の事業内容等について説明を行った。

説明では、組合の設立から現在までの変革や、重点事業である高度化事業、景観事業、環境事業、問屋町ビジネススクールなどについて、写真やグラフ等を使用しながら



高崎卸商社街来訪

解説。説明後の質疑応答では、トランクボックスの運営方法や利用状況、共同機械整備などについて活発な意見交換が行われた。

今年度の街頭指導終了

青森交通安全協会問屋町支部(多田支部長)が実施する、平成25年度問屋町交通安全街頭指導が、10月22日(火)の開催をもって全日程が終了した。

今年度の参加者数は全4回で延べ289名、1回あたり平均参加者数は66名であった。

問屋町交通安全街頭指導では、7月〜10月の期間、月1回、朝8時から問屋町八ッ役五又路交差点にて、信号待ちのドライバークに運転中の携帯電話の使用禁止や飲酒運転禁止などを呼びかけると共に、シートベルトの着用調査も併



街頭指導

せて行い、交通事故撲滅に取り組んでいる。現在、同支部では、記録達成まであと半年を切った「問屋町内交通死亡事故ゼロ6千日達成」推進運動中で、平成26年4月1日の記録達成を目指し、安全運転啓蒙活動を続ける。

経済雑感

第五十三回

青森中央学院大学経営法学部

教授 高山 貢

前号に引き続き、青森中央学院大学の高山教授による経済雑感をお送りする。

「賃上げへの期待」

日本経済は少し元気を取り戻してきたと言われている。為替の円安効果で輸出企業の採算が好転、国内大手企業の決算は久しぶりに増収増益企業が増えてきている。円安、株高で企業業績の好転は確認できたが、期待される賃上げまでつながるのか、経営者と労働組合との賃上げを巡る久方ぶりの攻防が注目されている。



青森中央学院大学経営法学部 教授 高山 貢氏

青森県の労働事情について調べてみた。青森県の労働力人口(平成22年国勢調査)は約70万2千人、うち就業者が約63万9千人である。県内サラリーマンの所得、毎月現在の給与総額(所定内給与+所定外給与+賞与)は平成23年が24万4千円、全国が31万7千円なので全国比約8割の水増しとどまる。実はここ10年増えないのである。10年前の平成13年が28万5千円なので、むしろ減っている。平成23年4月の県内企業の賃上げ率は1%を下回っている。たばこを止め、飲み会の回数を減らし、バス通勤を自転車、徒歩に切り替えたとしても、子供の教育費は削れない。こんな

な家庭が県内にも多いはずである。家計節約のシワ寄せは働くお父さんに重くのしかかる。来年4月からの消費税率引き上げで、家計の負担は増すばかりである。給料が3%上がったとしても消費税の負担と相殺されてしまう。給料が上がるなら生活はますます苦しくなる。経営者の立場からすると、これまで不況の中で精一杯のコスト削減しながら、乾いたタオルを絞るような経営を強いられてきた。昨年末から、円安効果や復興需要で売り上げも幾分戻ってきたが、会社利益は空っぽの状態です。社益を確保しておきたいところだろう。新年度の設備投資や

借り入れ返済も視野に入れて守りの経営から攻めの経営に転じたい気持ちもあるのではないだろうか。従業員の賃上げ期待に応えたいが、まずは会社の経営を優先したいところだろう。政府はあの手この手で、企業に賃上げを要請しているが、なかなか浸透していない。サラリーマン、企業経営者、政府のなかでは、サラリーマンの立場が一番弱いのが情けない。せめて、景気が良くなれば、仕事が忙しくなり、残業が増える。残業代の所定外給与が増えて、少しでも毎月の給料が上がれば期待している人も多いはず。労働時間と景気の関係も身近な景気判断材料である。(完)

境建材株式会社

〒030-0131 青森市問屋町一丁目14番1号
本社 ☎(017)764-5581 F A X (017)728-7275
工事部 ☎(017)764-5585 左官材料・タイル専門 ☎(017)728-7266

- | | | | | | | | | |
|--|-------------------|---|----------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------|
| 商事部
新建材
銘瓦
ラ官材
左官材料 | 全般
木
ン
材 | タ
衛
ヒ
ュ
ム
ポ
ー
ラ
ー | 工 | 内
タ
ビ
住
宅 | 装
イ
ル
工
事
用 | 事
工
サ
ッ
ツ | 水
防
風
シ
シ
工
事 | 工
事
工
事 |
|--|-------------------|---|----------|-----------------------|----------------------------|-----------------------|---------------------------------|------------------|

建設から暮らしまで カクヒロ 灯油・LPGのご用命は当社へ

株角弘 青森燃料センター

青森市第二問屋町3-10-10
TEL017-762-3866

総合断熱資材・空調部材

(株)オー・ケー・アイ

〒030-0131
青森市問屋町二丁目20-7
TEL (017) 764-1105
FAX (017) 728-3371

ESSO Express OUTPOST

青森市第二問屋町4-10-26
エクスプレス問屋町SS
TEL 017-762-1676
ドールコーヒーショップエッソ問屋町店
TEL 017-729-1470

組合事務局女子職員のスキルアップを目指す

県内の卸団地で組織される青森県流通団地連絡協議会では、女子職員を対象とした団地組合職員研修会を10月18日(金)に八戸市で開催した。研修会は協八戸総合卸センターと八戸市水産科学館マリエントで行われ、県内の卸団地職員7名が参加。当組合からは張山総務課長、小又職員、村上職員が参加した。

八戸総合卸センターでは、同組合の松尾事務局長より組合の概要説明がなされ、終了後には館内を見学。また、同組合で平成24年10月よりスタートさせたカーシェアリング



マリエントで研修会

を体験し、同車で団地内や物流センターを見て回った。八戸市水産科学館マリエントでは、館長の吉井仁美氏を講師に「女性職員(女性リーダー)に求められる役割」をテーマにして研修が進められた。

吉井館長は「仕事の一つ一つに責任を持ち、日々の当たり前前の事をきちんと心を込めて繰り返ししていくことが大切。働かせてくれてありがとう」という感謝の気持ちをお忘れなければ結果は必ずついてくる」と語り、参加者一同感銘を受けた。

10月25日(金)には東北卸商業団地連絡協議会の事務局女子職員研修会が開催。同研修会は東京で行われ、東北の各卸団地から、当組合の成田職員と村上職員を含め9名が参加した。

研修会では始めに、卸団地の上部団体である全国卸商業団地協同組合連合会(商団連)の栗原専務理事より同連合会の役割と活動内容について説明があった。

ですが、当社は総合商社です。販売許可を数多く持っていますので、要望があればなんでも用意します。仮に薬品工場の分析室を作る依頼が来たとしたら、実験器具から備品まで当社で一部屋丸ごと用意できます」と頼もしい。

研修会終了後の懇親会では会話も弾み、各卸団地の情報交換行い、交流を深めた。

支店長としての目標について何うと「営業、事務、配達等社員一丸となり、会社が示す方向に向かっていけるようにしたいです。また、社員にはどんな細かいことでも良いので、話を上に上げてもらい、皆で情報を共有し、社内の風通しを良くしたいです」と語りました。

組合員訪問

今回は、10月に支店長に就任された東北化学薬品株式会社青森支店の西堀支店長にお話を伺った。



東北化学薬品(株)青森支店支店長 西堀 渉 氏

同社は昭和28年、弘前市に設立し、農薬の販売からスタートした。その後取扱品目は、化学工業薬品や臨床検査試薬、関連機器等が主だったものとなり、顧客には、メーカーの工場、大学、病院等が多い。現在は東北5県と東京に12の支店・営業所、5つの子会社・関連会社、研究所を持つ。また、平成7年にジャスタックに上場し、いまや青森県を代表する企業となっている。「社名には化学薬品とあり

同社は時代の流れにも敏感で「専任の新規事業担当を設け、その時代の旬な商品をお客様に提案しています。最近では、ヘルスケア商品に力を入れていまして、団地内にお勤めの皆さんにもぜひ一度お試しいただきたいです」とPRする。

また、新規事業展開のために、同社では平成15年に「生命シス

おお客様の立場に立ち、誠心誠意対応するよう教育しています。当社は固定のお客様が多いので、末永くお付き合いいただけるよう、社員一人一人が丁寧な対応でおお客様の信頼を得られるよう努めています」と説明する。

「当社は、お客様を大切にします。人を大切にします。社会に貢献します。豊かな生活をめざします。の4つを企業理念に掲げ、この理念に基づいて商売をしています。社員に対して、員に対しても、お客様の立場に立ち、誠心誠意対応するよう教育しています。当社は固定のお客様が多いので、末永くお付き合いいただけるよう、社員一人一人が丁寧な対応でおお客様の信頼を得られるよう努めています」と説明する。

編集後記

一面でもお伝えしましたが、今年度の問屋町合同清掃が終わり、今年度は全6回開催されましたが、平均参加人数が201名と初めて二百人の大台を越えることができました。参加いただいた団地の役員の方々に心から感謝いたします。▼転話題。先号に続き「農業の6次産業化について」ですが、その前提の農業の現状はつぎのとおり▼平成22年での農家数253万戸(平成2年では383万戸)。農業就業人口は261万人で平均年齢65.8歳。主業農家は農家数36万戸で農業就業人口92万人。平均年齢は58.6歳▼農業総産出額はピークの一九八四年では11.7兆円でしたが、二〇一一年には8.2兆円まで減少▼二〇〇五年の食のマーケットでは生産段階で10.8兆円、生産額が、最終消費段階では73.6兆円まで拡大▼これを米で見ると農業者(生産段階)で13千円/60kgの米が、加工業者(最終消費段階)では108千円/60kgのおにぎりに変貌。価格は8.3倍です▼ここから日本政策金融公庫の定義が導かれます。農業の6次産業化とは「従来のように生産物を市場経由で販売するだけでなく、消費者への直接販売や加工により付加価値をつけて販売する等により、経営の利益・所得向上を目指す取り組み」であるとして、つまり6次産業化へのシフトは至極当然というわけですね。(藤本)

医療機器・理科学機器・医薬品

株式会社 北斗医理科

HOKUTO

本社 〒036-8216 青森県弘前市在府町18
TEL (0172) 34-1431 FAX (0172) 34-1434

青森営業所 〒030-0131 青森県青森市問屋町二丁目13番8号
TEL (017) 764-4121 FAX (017) 728-4131

八戸出張所 〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字上坂田4-16ピュアハウスIIIG号室
TEL & FAX (0178) 27-8144

盛岡出張所 〒020-0173 岩手県岩手郡滝沢村滝沢字室小路208ヴィラマカナミE棟
TEL (019) 699-1281 FAX (019) 699-1280

有料老人ホーム 北斗緑ヶ丘寮 〒036-8253 青森県弘前市大字緑ヶ丘3丁目5-1
TEL (0172) 31-3111 FAX (0172) 31-3110

訪問介護事業所 北斗ヘルパーズセンター 〒036-8241 青森県弘前市桜ヶ丘2丁目22-4
TEL (0172) 88-7541 FAX (0172) 88-7542